

市議会 3 月定例会 代表質問要旨

○平成 2 4 年 3 月 1 日（木） 代表質問 1 日目

【1 番目 正風改革クラブ 宮 崎 雅 薫 議員】

- 1 平成 2 4 年度予算や今後の財政運営について
 - (1) 歳入の根幹である市税に関し、個人・法人市民税、固定資産税、入湯税及びたばこ税などの予算額の積算に当たり、現状の市内経済状況をどのように把握し、反映したのか伺う。
 - (2) 市税の公平負担及び歳入確保の観点から、平成 2 4 年度における市税滞納繰越分の徴収計画を伺うとともに、収納課内に滞納整理専門部署を設置すべきと考えるが、市長のお考えを伺う。
 - (3) 新市民病院建設や環境美化センターの更新改良整備などの大型事業による平成 2 4 年度以降の市債現在高やその償還見込み、及び、公債費比率の見込みについて伺う。
- 2 「場の力が創造する魅力・活力のあるまち」に係る事業について
 - (1) 本市の基幹産業である観光業は、民間に収益を生む重要な産業であると考え、産業振興の観点から誘客宣伝事業や観光振興事業予算の積算内容やその効果について伺う。
 - (2) 中小小売業振興策として実施された W プレミアム夢クーポンの現況について伺う。
 - (3) 空き店舗が目立つ商店街の現状をどのようにとらえ、平成 2 4 年度における商店会や中小小売業のイベント施策について伺う。
- 3 「まちづくりを進めるために」に係る事業について
 - (1) 給与費の各種手当の見直し状況、及び、平成 2 4 年度以降の退職者数と退職手当の見込みについて伺う。
 - (2) 職種、職責による定期昇給の抑制や昇給停止年齢の導入、及び、定年年齢の延長などの新しい給与制度の導入についてのお考えを伺う。
- 4 「やさしさと笑顔にあふれる健康なまち」に係る事業について
 - (1) 生活保護世帯の推移と平成 2 4 年度以降の見込みについて伺う。
 - (2) 受給者に対する就労支援の状況やその体制、成果について伺う。
- 5 「心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち」に係る事業について
 - (1) 平成 2 4 年度の幼稚園や小・中学校の修繕要望に対し、どのような方針で臨んでい

くか伺う。

(2) 幼稚園、小・中学校の園児、児童、生徒の減少による学区の見直しについて伺う。

【2番目 公明党 鳥居康子議員】

平成24年度予算編成に関し、以下伺う。

1 市内経済は、昨年の東日本大震災等の影響を受け、一段と厳しい状況が続いていると実感している。歳入の根幹をなす市税等の収入は、前年度と比べマイナス4億5,000万円余となっているが、市内の経済状況等をどのように判断して歳入を組み立てられたか伺う。

また、歳出においては、年々投資的事業費の構成比が縮小されている中、何に重点を置いて予算を編成されたか伺う。

2 東京電力から大規模事業所の電気料金の値上げが求められているが、本市にとっての影響をどのように考えておられるか伺う。

また、代替エネルギーの検討を積極的に行うべきと考えるが、いかがか。

3 超少子高齢社会を迎える中、「新しい公共」という考え方が大事になってくると考えるが、行政と市民との協働という観点から、地域・市民の力をさらに活用していくべきであると考えているが、いかがか。

4 新年度予算には、環境美化センター更新改良整備事業として2億5,000万円余の事業費が計上されており、一般ごみの処理は順調に進められていると考えるが、本市の処理状況を踏まえ、東北地方復興の課題となっている「瓦れき広域処理」の受け入れに対する本市の考えを伺う。

【3番目 民主党・刷新の会 鈴木克政議員】

平成24年度の予算編成に当たり、市長の政治姿勢を伺う。

1 行財政改革の取り組みについて

(1) 本年4月からスタートする行財政改革大綱の概要について伺う。

(2) 職員数については、計画目標を上回る減員となっている一方で世代間の人数に格差が生じているが、その対策と適正な職員数について伺う。

(3) 新たな大綱の職員への周知徹底について伺う。

(4) 国家公務員給与削減特例法案の附則では「地方自治体が法の趣旨を踏まえ、自主的かつ適切に対応する」としているがその対応について伺う。

2 伊豆半島ジオパーク構想について

(1) 観光面から見たジオパークについて伺う。

(2) 拠点施設の設置について伺う。

(3) 現地で情報収集を可能とするスマートフォンやタブレット型端末への対応について伺う。

(4) 住民意識の高揚策として原動機付自転車のオリジナルナンバープレート導入について伺う。

3 インバウンド事業の実績と今後の見通しについて、さらに、地域ホームページの外国語への対応について伺う。

4 平成23年度における商工業の振興については、「時機を捉えた活性化策を積極的に講じてきた」としているが、その成果をいかなる数値で検証したか伺う。

5 有害鳥獣による被害は農作物にとどまらず森林破壊や自然生態系に影響を及ぼすが、その対策について伺う。

6 本市南部地域における新たな交通システムの可能性について伺う。

7 平成24年度末のスタートを目指している消防救急広域化はいまだ枠組みの決定に至らず、そのスタートに一抹の懸念を抱くが、進捗状況と今後のスケジュールについて伺う。

○平成24年3月2日（金） 代表質問2日目

【1番目 輝21 三枝 誠次 議員】

1 平成24年度予算に関して

(1) 昨年度比8億3,000万円の減額とした平成24年度一般会計当初予算の歳出において、最も配慮した点を挙げるとしたら何か。

また、最近の傾向として年度当初の景気・経済対策を重視し、前年度末の3月補正での繰越明許費等の予算措置がされ、市民にも喜ばれているところではあるが、今後このような姿勢で市政運営がされるのか、伺う。

(2) 市税の落ち込みが毎年続いているが、その代替となる財源の発掘についてどのように考えているか、伺う。

(3) 来春開業予定の市民病院や平成24年度に予定している環境美化センター焼却炉更新改良工事に係る建設費等の起債償還により、本市の財政構造にどのような影響があると考えるか、伺う。

(4) 緊急経済雇用対策事業については、平成21年7月29日の市議会臨時会で議決し、予算化がされてから今日まで既に6億110万円事業化されており、さらに、今定例会に平成23年度補正予算で3,000万円を繰越明許費として予算計上されている。この一連の政策についてどのように分析し、評価しているか、伺う。

2 市長の政治姿勢について

(1) 最近話題となっている「首長と教育委員会とのかかわり」について、市長の考えを伺う。

(2) 定員適正化計画の進捗と削減計画を超えて減員となったことをどう分析し、今後の職員配置をしていくのか。

また、世代交代の中、若手管理職が多くなると推察するが、職員の養成をどのように構築するか、伺う。

【2番目 伊東元気の会 杉本 一彦 議員】

1 市長説明並びに施政方針について、以下伺う。

(1) 市内経済に対し「時機を捉えた活性化策を積極的に講じてきた」とありますが、その政策が市内経済にどう影響し市内経済がどう変わったのか伺う。

(2) 平成24年度予算案に関し、以下伺う。

ア 観光商工費に関し、本市の将来を見据えた観光戦略について

- (ア) 本市の観光産業における実態・実情について市長の現状認識を伺う。
- (イ) 伊豆全体の観光地伊豆再生に向けた取り組みの経過と現況について伺う。
- (ウ) 本市の観光経済浮上に向けた観光戦略や、その対策としてどのようなことを考えているのか伺う。

イ 土木費に関し、本市の今後の都市計画について

- (ア) 本市の都市計画に市民の声が反映されるよう、どのような「仕組み」になっているのか伺う。
- (イ) 本市の都市計画に関する情報をどのように市民に伝えているのか、その方法について伺う。
- (ウ) 「都市計画マスタープラン」には、これからの伊東が目指すまちづくりについてさまざまな構想や計画が記されているが、これらを具体的に実現していくための方策について伺う。

ウ 教育費に関し、本市の将来の教育環境について

- (ア) 伊東市政における「教育」の位置づけを伺う。
- (イ) 市内小・中学校に通う児童・生徒の学力に関する現状認識、及び、学力向上に対する考えや今後の取り組みについて伺う。
- (ウ) 児童・生徒数が減少する中で、今後の本市のまちづくりの観点から小・中学校の統廃合についての考えを伺う。

2 伊東市の課題について、以下伺う。

(1) 放射能汚染に関する事項について

- ア 本県内で起きている、お茶や干しシイタケの放射能汚染問題や島田市の瓦れき受け入れ問題など一連の放射能汚染問題に対し市長の見解を伺う。
- イ 本市において現在取り組んでいる放射能対策と今後の取り組みについて伺う。

(2) 新伊東市民病院建設に伴う市内の経済波及効果について伺う。